

教授 西村 正幸

著書、学術論文等の名称	単著、 共著の 別	発行又は発表 の年月	発行所、発表雑誌等又は 発表学会等の名称	概 要
◎展覧会 『版の方法論50×50=75』展		2016. 7. 15 ～27	名古屋芸術大学 Art & Design Center	50×50cmの版画（木版画、スクリーンプリント）1点出品。姉妹校のキングモンクット工科大学（KMITL）とブライトン大学（UoB）との国際交流展を、本学ADセンター企画として実施。まずは、KMITLとUoBの教員たちが本学に来校し、ワークショップ、シンポジウム「教育機関にとっての版画教育のこれから」なども実施。

『版の方法論50×50=75』展	2016. 8. 26 ～30	キングモンクット工科大学 学内ギャラリー	KMITLとUoBの教員が集まり、盛大なオープニング・レセプションや今後の交流のことなどについても話し合う場を持つ。
『K-109展:名古屋芸術大学版画研究室』展	2017. 2. 8～ 12	名古屋市民ギャラリー矢田	版画コース開設前から35年近く続いている本学版画コース学生・教職員による版画展。
アートクリエイターコース、 レビュー2016	2017. 2. 8～ 12	名古屋市民ギャラリー矢田	アートクリエイターコース開設以来、毎年開催している1～3年の一年間の成果を披露する展覧会。教職員も出品。
『版の方法論50×50=75』展	2017. 3. 14 ～4. 20	ブライトン大学 学内ギャラリー	KMITLとUoBとの3大学交流巡回展の最終展示。3大学の教員、OB、学生75名分の50×50cmの版画を各作家3部ずつ提供し、各大学に1セットずつ桐箱に入った版画集が所蔵された。
◎企画した展覧会、他 2016年度ファン・デ・なごや 美術展審査委員	2016	名古屋市文化振興事業団	2016年度入賞者3組を選出、約1年後の展覧会までに、何度かプレゼンテーションを受け、展覧会実施まで関わる。審査委員は愛知県芸大、名古屋造形大、本学から1名ずつ選出され、委員長は山脇一夫氏。
『高木志保展』の企画	2016. 3. 24 ～11. 24	清須市図書館量ギャラリー	清須市図書館と本学アートクリエイターコースによる継続的な関学連携事業。直前の卒業制作の一部を組み替えて展示。作者が制作に関連した図書を紹介し、図書館を訪れた子どもたちが図書にも興味を持つように関連づけている。
『高校生のチカラ—芸術への招待—』展の企画	2016. 5. 6～ 11	名古屋芸術大学 Art & Design Center	尾張地区の高校美術部を対象に、美術学部出前サポート事業として、展覧会とワークショップを開催。ワークショップはファン・デ・なごや美術展2016で「家をはがす」プロジェクトを行った版画の非常勤講師阿部大介先生に「名古屋芸大をはがす」ワークショップを依頼。ADセンターに展示した高校生の作品を学部・院生が講評する。
ワークショップ 『名古屋芸大をはがす』の 企画	2016. 5. 7、 8	西キャンパス	
高校生作品講評会の企画	2016. 5. 8	名古屋芸術大学 Art & Design Center スタジオ	
『peace nine 2016』展の企画	2016. 5. 13 ～18	名古屋芸術大学 Art & Design Center	5.14(土)に特別講座『アートで平和について考えよう』(Eテレ『沖繩でコルヴィッツに出会う』上映) 5.16(月)に平和についての学習会でリサ・モリモト監督の『特攻』上映。
『アートクリエイターコースのコレクション』展の企画	2016. 5. 13 ～18	名古屋芸術大学 Art & Design Center	アートクリエイターコースの卒展買上作品や、海外からアーティスト・イン・レジデンスのため来日した作家の購入作品などを展示し、学生たちへの刺激とする企画。

<p>『FROM DENMARK 2016: Marianne Thingholm、Julie Bach、鈴木恵実、竹内麻』展の企画</p>	<p>2016. 6. 3～8</p>	<p>名古屋芸術大学 Art & Design Center</p>	<p>デンマークのグルステッド村との交流で隔年ごとに開催している交流プロジェクト。今回はMarianne ThingholmとJulie Bachの2名が来日し、7月にデンマークに招待される本学卒業生作家鈴木恵実、竹内麻が加わり、公開制作と展覧会を開催。</p>
<p>キングモンクット工科大学 教員によるワークショップ 「リトグラフ」の企画</p>	<p>2016. 7. 16</p>	<p>西キャンパス K104リトグラフ工房</p>	<p>「版の方法論50×50=75」展関連行事。</p>
<p>本学による高校生対象 ワークショップ「モノプリ ントとドライポイント」の 企画</p>	<p>2016. 7. 17</p>	<p>西キャンパス K103エッチング工房</p>	<p>オープンキャンパスのワークショップとして開催。</p>
<p>本学によるワークショップ 「紙すき」の企画</p>	<p>2016. 7. 19</p>	<p>西キャンパス 紙すき工房</p>	<p>ブライトン大学教員や留学生も参加した日本ならではのワークショップ。</p>
<p>ブライトン大学教員による ワークショップ「エッチン グ」の企画</p>	<p>2016. 7. 20</p>	<p>西キャンパス K103エッチング工房</p>	<p>ブライトン大学教員によるエッチングのワークショップ</p>
<p>高校生向けワークショップ 「リトグラフ」「紙すき」の 企画</p>	<p>2016. 7. 25</p>	<p>西キャンパス K104、紙すき工房</p>	<p>版画コース担当で高校生向けに開講した「リトグラフ」と「紙すき」のワークショップ</p>
<p>『わんぱく制作隊』の企画</p>	<p>2016. 8. 23</p>	<p>上飯田児童館</p>	<p>小学生向けのオブジェ作りなどのワークショップ</p>
<p>オープンカレッジin飛騨 『芸術と癒しⅡ』全7回の 企画</p>	<p>2016. 9. 3～ 12. 4</p>	<p>飛騨・世界生活文化セン ター</p>	<p>第1回：西村正幸、第2回：森裕介（臨床美術）、第3回：荒木紀江（日本画）、第4回：伊藤孝子（音楽療法）、第5回：渡邊正（緩和ケア医、東海中央病院名誉院長）、第6回：駒井貞治（建築）、第7回：新實広記（ガラス）</p>
<p>オープンカレッジin飛騨 『芸術と癒しⅡ』第1回 「身近なキャラクターと 音楽から」の講師</p>	<p>2016. 9. 3</p>	<p>飛騨・世界生活文化セン ター</p>	<p>第1回目は西村自身のレクチャー。</p>
<p>クリエ幼稚園年長園児 『造形クラス』ワークショ ップの企画と講師</p>	<p>2016. 9. 6～ 9</p>	<p>西キャンパス (K103, K104, G202, 紙すき工房)</p>	<p>1999年より毎年継続して実施している附属クリエ幼稚園年長園児向けの恒例のワークショップ。</p>
<p>清須市はるひ美術館 『ゲイタイでリトグラフ体 験』の企画と講師</p>	<p>2016. 8. 6</p>	<p>西キャンパスK104</p>	<p>はるひ美術館の夏の企画展「アルフォンス・ミュシャ デザインの仕事」展にあわせて、親子で多色刷りリトグラフを制作。</p>

<p>バンドーラ制作 ワークショップのサポート</p>	<p>2016. 8. 8～ 12</p>	<p>木祖村こだまの森</p>	<p>窓口：木祖村役場商工観光課 主催：NPO法人木曾ユネスコ協会 協賛：木祖村、木曾観光連盟、日野製菓、他 東日本大震災の被災地の小学生約20名を木祖村に招き、中澤準一さん（元小学校教諭の彫刻家）の指導のもと楽器バンドーラを制作。（震災以降毎年開催） 学生が木祖セミナーハウスに宿泊し、アシスタントを行う。セミナーハウス閉鎖で実施が危ぶまれている。（2017年度は中止） 学生6名がワークショップ・アシスタントとして参加。</p>
<p>清須キッズ・アートラボ 『紙版画をつくろう』の企画と講師</p>	<p>2016. 9. 10</p>	<p>西キャンパスK103</p>	<p>清須市在住の小学4年生対象の毎年恒例のワークショップ</p>
<p>こどもお絵かきコンテスト 2016の講師</p>	<p>2016. 10. 8</p>		<p>ファーバーカステルの水性色鉛筆の普及目的で、代理店シャチハタと企画のピアズとアートクリエイターコースの連携事業。お絵かき教室は学生たちが担当。Net上での審査は西村担当。</p>
<p>Project “The Kunsthalle and the Villages” 《Word and Picture— Japanese (Kanji, Katakana, Hiragana) + Picture + Denish》</p>	<p>2016. 10. 9 ～16</p>	<p>Bråskovgård Efterskole, Denmark</p>	<p>本学から西村と助手、学生ら6名が招かれ、デンマークのプロスコにある農業学校（寄宿学校）の生徒120名に「平和」をテーマに木の家を作るワークショップを実施。初日にホールで生徒たちと教師たちに向けて「Memories I did not know “Word and Picture”—Japanese (Kanji, Katakana, Hiragana) + Picture + Denish」をテーマに講義を実施した後、書道、造形のワークショップを経て20個近い木の家の作品をグループ制作し、敷地内に設置。本企画は、“Aarhus is European Capital of Culture in 2017”のofficial programで、2017年度の日本～デンマーク国交150年プレ企画として、プロジェクト・マネージャーのSteen Rasmussen（造形作家）より招聘される。第24回EU・ジャパンフェスト公式報告書（pp. 160-161）に掲載される。</p>
<p>『幼稚園児たちのゲイジツ』 展の企画</p>	<p>2016. 11. 4 ～9</p>	<p>名古屋芸術大学 Art & Design Center</p>	<p>9月に版画工房等で実施したワークショップで制作したクリエイティブ幼稚園年長園児たちの版画などを展示。</p>
<p>『Handospeace: 医療と美術』展の企画</p>	<p>2016. 11. 4 ～9</p>	<p>名古屋芸術大学 Art & Design Center</p>	<p>アートクリエイターコース3年生の「医療と美術」でホスピス・緩和ケア病棟の患者さんのために制作した作品や提案を展示する毎年恒例の展覧会。</p>
<p>『旧加藤邸アートプロジェクト2016《記憶の庭で遊ぶ》』展の企画</p>	<p>2016. 11. 12 ～20</p>	<p>旧加藤家住宅</p>	<p>毎年恒例の北名古屋市にある文化財「旧加藤家住宅」で開催する本学4学部の学生・教員が関わる展覧会と音楽パフォーマンス。</p>

『版の神髄：マルメと名古屋から』展の企画	2016. 11. 18 ～23	名古屋芸術大学 Art & Design Center	スウェーデンのマルメにある版画工房との交流をスタート。本学の版画作家（教職員）2名を派遣し、スウェーデンから2名を招聘し、版画の公開制作やレクチャー、展覧会を開催。
『木下千穂展』の企画	2016. 11. 24 ～2017. 7. 26	清須市図書館畳ギャラリー	彫刻クラス3年木下千穂のソフトスカルプチャーを展示。
北欧のクリスマス・リース作り 親子ワークショップ	2016. 12. 3	上飯田児童館	上飯田児童館の利用者親子を対象としたワークショップを依頼され、10月にデンマークの寄宿学校でのワークショップに出かけた際に仕入れた北欧の螺旋型クリスマス・オーナメントを作るワークショップを実施。
2017年度ファン・デ・なごや美術展審査委員	2017	名古屋市文化振興事業団	2017年度入賞者3組を選出、今年12月の展覧会までに、何度かプレゼンテーションを受け、展覧会実施まで関わる。審査委員は愛知県芸大、名古屋造形大、名古屋学芸大、本学から1名ずつ選出され、4月より西村が委員長を務める。